

令和 7 年度事業計画

2024 年は日米欧をはじめ 70 カ国以上で国政選挙が実施され、主要国においては 2025 年以降、幅広く政策変更が見込まれている。世界経済は主要国のインフレ率低下や金融引き締め緩和、さらにそれに伴う消費や投資の拡大が追い風となっている。しかし、国家間の分断や、政治の不安定化による不確実性が増大し、これが経済成長に対する下押し要因となる可能性がある。

日本経済は、大企業を中心とした良好な企業収益を背景に、賃金の上昇や設備投資の拡大が続くことで、内需主導の緩やかな成長が期待されている。ただし、世界経済の不確実性が依然として大きな下振れリスクとなる可能性がある。

賃金動向に関しては、多くの企業で賃上げが進められている一方、中小企業の中には持続的な賃上げが難しいと感じる経営者もあり、一部では賃上げの負担感が表れている。こうした状況を克服するには、収益力の向上が不可欠であり、そのための成長や変革を後押しする支援が重要となる。

東北地方では、他地域に比べて有効求職者数の減少率が特に大きく、賃上げ余力に限られる中小企業が直面する人手不足が深刻化している。この課題に対応するためには、多様な人材の確保・定着を支援する施策や、デジタル技術を活用した業務効率化・生産性向上が地域経済の供給力強化に欠かせない要素となる。こうした背景もあり、知識や経験を有する専門家による中小企業への個別対応や助言の重要性は、これまで以上に増している。

また、地域が抱える多様な課題に対応するため、起業支援の必要性も一層高まっている。起業はイノベーションや雇用の創出のみならず、社会課題の解決においても重要な役割を果たしており、地域における起業の重要性は今後さらに向上すると考えられる。

以上を踏まえ、仙台市産業振興事業団では、仙台都市圏における中核的な中小企業支援機関として、仙台市と緊密に連携し、地元中小企業や起業家の多様なニーズに応じ、中小企業の経営基盤強化、継続的な起業家の成長及び新事業の高付加価値、企業活動の国際化、それらを推し進めるための組織活性・人材育成などへのきめ細やかで多角的な支援を展開していく。

中小企業支援事業

(1) 起業支援事業【39,184 千円】

「アシ☆スタ交流サロン」を拠点に、起業家セミナーを開催し、起業意欲の向上、経営ノウハウの習得、人的ネットワーク構築を支援する。起業直後の事業継続・発展を支えるため、経営課題解決に役立つセミナーや起業家同士が交流できる機会も提供する。さらに、中小企業診断士や税理士など幅広い専門家を配置し、個別相談を通じて寄り添った支援を行う。関係機関や団体とも連携し、スタートアップ・エコシステムの形成を推進する。加えて、国家戦略特区「仙台市開業ワンストップセンター」を継続運営し、オンラインシステムを活用して事業開始時の各種申請手続きの負担を軽減することにより、仙台地域の外国人を含む多様な人々がスムーズに起業できる環境整備を進めていく。

(2) 中小企業変革応援事業【19,052 千円】

地元中小企業の持続的発展に寄与するため、仙台市中小企業応援窓口において、多様な専門家による相談対応とビジネスマインドを高めるセミナーを実施して、新事業展開や商品開発、市場開拓等、中小企業の変革と成長をワンストップで支援する。

(3) IT 活用推進事業【67,511 千円】

経営戦略として業務のデジタル化やテレワーク等を進める事業者を支援するため、セミナー開催や専門家による支援を行う。

また、地元中小企業がデジタル化や業務効率化に着手し、生産性向上・競争力強化を図る取組みを促進するため、伴走支援を行いながら対象経費を補助する。

(4) 雇用支援事業【21,583 千円】

地元中小企業における多様な人材の確保・定着を目的に、採用コンサルティングや採用・人材定着関連セミナーによる採用力の向上、また、現場での実践を交えた中核人材養成プログラム・組織開発プログラムによる人材定着促進を図る。さらに、個別キャリアコンサルティングおよびグローバル人材育成支援を通じて、働き手の視点からも地元企業への就労・定着を支援する。

(5) IT 技術者育成事業【30,745 千円】

地域の IT 業界団体と連携したシステムエンジニア教育を、新人から若手、中堅・リーダー層の階層別に展開し、地域 IT 企業の成長および IT エンジニアの育成を促進する。

(6) 販路開拓支援事業【60,956 千円】

東北の地域性を生かした新しいみやげを表彰する「新東北みやげコンテスト」を実施し、商品の知名度向上や販売促進を図る。また、首都圏の展示会への共同出展や販売会への出店支援を行うほか、販路開拓コーディネーターがオンライン商談カタログを活用し、地域中小企業とバイヤーの取引機会を創出する。ウェブメディア「暮らす仙台」を活用し、商品の認知度向上も図る。中小企業の持続的成長を支援するため、ハンズオン型のマーケティング支援を実施し、市場調査から戦略策定、販路開拓までを一貫して支援する。海外展開を目指す中小企業には、海外展示会への共同出展やビジネスマッチングを支援し、国際市場への進出を促進する。

(7) ものづくり産業支援事業【13,041 千円】

イノベーションに挑戦するものづくり企業に対し、仙台市の地域企業課題解決マイスターが企業に直接出向き、技術的な課題を含む様々な困りごとに助言を行う。また、大学教授等を講師とするセミナー「寺子屋せんだい」や、県内大学と連携した「大学連携セミナー」を開催し、先端技術や事業改善のヒントを提供する。個別課題解決には、産学連携専門家派遣事業を実施するほか、支援機関連携を通じて広域連携を強化し、科学技術やイノベーション促進を図る。さらに、支援機関交流によるシナジー効果を活かし、ものづくり中小企業間のマッチングを一層推進することで、地域産業の成長を後押しする。

(8) ウェルビーイング製品開発支援事業【18,818 千円】

ウェルビーイング分野における製品等の開発支援及び事業化に向けた実証支援等を通じて、中小企業における新規事業の創出及びウェルビーイング産業の活性化を促進する。また、海外展開枠を設けることで、海外展開に取り組む中小企業の裾野拡大を図るとともに、地元中小企業の国際化を支援する。

(9) 施設管理運営事業【178,222 千円】

仙台市中小企業活性化センターで実施される各種イベントの円滑な運営等に資するため、経年劣化が懸念される設備等を中心とした計画的な修繕、定期的な清掃そして、各種災害に備えた体制（事後の中小企業緊急相談窓口の開設等も含む）を整備し、安心安全な施設の管理運営を行う。

また、同センターが、中小企業の活性化の拠点施設としての機能を十分に果たせるように以下の事業を実施する。

- ① 中小企業者等の経営の高度化、販路の拡大、技術の向上及び資金調達の円滑化を図ることにより経営基盤の強化の促進に関する事業
- ② 中小企業者等相互間又は中小企業者等と中小企業振興団体、金融機関、若しくは大学等との間での連携及び協力の推進に関する事業